



1/卒園児に保育証書を授与 2/保育園で過ごした日々を振り返り、別れの言葉を伝える卒園児 3/小袖保育園の歌を合唱。大きな声で「ぼくらはうみの子こその子、ヤーッ!!」 4/先生や在園児に見送られ、笑顔で退場する卒園児 5/感謝の気持ちを込めて先生に花束を贈呈 6/園児や保護者、先生で記念撮影

地域に愛される 小袖保育園が閉園

地域の漁業生産部が母体となり、昭和44年に開園した小袖保育園。総勢637人の園児を送り出しましたが、児童数の減少により、惜しまれつつも55年の歴史に幕を閉じます。

3月16日、最後の卒園式を開催。卒園児4人は久世陽子園長から保育証書を受け取り、感謝の気持ちを込め、保護者へ手渡しました。

同日閉園式も行われ、園児7人全員で、小袖保育園の歌「ぼくらは海の子小袖の子」を合唱。元気いっぱいの歌声を園舎に響かせました。

久世園長は「地元の人が立ち上げ、地域で作り上げてきた保育園です。差し入れや環境整備の協力など、たくさんの方が気にかけてくれました。これほど地域に愛された保育園は、ほかにありません」と熱い思いを語りました。卒園児の大久保朱莉さんは「走るのが得意で、マラソンを頑張りました。小学校では体育の授業が楽しみです」と期待に胸を膨らませました。

かめ吉防災リュックを寄贈

3月12日、市と包括連携協定を締結している(株)F・O・インターナショナルが、久慈地下水族科学館もぐらんぴあで、復興のシンボルとして親しまれるかめ吉をモチーフに制作した防災リュックを平山保育園の園児17人に贈呈。同社の小野篤子取締役が「家族と相談して避難に必要なものを入れて準備してみしてほしい」と事前防災の大切さを伝えました。

大西拓音さんは「リュックはかわいくてうれしい。水や缶詰を入れたいです」と笑顔。かめ吉防災リュックは、4月から1年生になる市内小学校の約200人にも贈呈されます。



かめ吉の泳ぐトンネル水槽で記念撮影



皆さんの写真を広報に掲載します

▶撮影条件…未就学の子もやペット、結婚などのお祝い事や久慈に関係する写真※紙面の都合により掲載されない場合があります。ご了承ください。

▶応募方法…氏名(ペンネーム可)、住所、撮影日・場所、写真のタイトル・説明を記入し、メール送付かデータを持参

岡地域づくり振興課 ☎52-2116

matizukuri@city.kuji.iwate.jp